

再使用禁止

ペイシェント スキャンドレープ

【禁忌・禁止】

- ・ 本品は再使用禁止である。

*【形状・構造及び原理等】

1. 概要

イメージングデバイスとナビゲーションシステムとを組み合わせた術中に、本品を患者に覆うことで清潔野を保つことができる。また、ナビゲーションシステムと共に用いられるリファレンスアレイのための三角形の空間を形成させることができる。単回使用である。

2. 製品

製品番号	製品名
22182	ペイシェント スキャンドレープ（10 枚）

原材料：ポリエチレン

【使用目的又は効果】

本品は、手術室の汚染から術野を隔離するために、保護的なカバーとして用いる用具である。単回使用である。

【使用方法等】

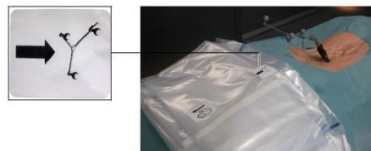
本品の詳細な使用方法については、付属の取扱説明書を参照すること。

<ドレープの開封>

- 1) パッケージに穴や裂け目がないことを確認する。
- 2) 無菌状態にあるパッケージからドレープを取り出す。

<ドレープの患者への配置>

- 3) 透明ドレープ全体を持ち上げて、図1のように、アレイのステッカーがリファレンスアレイの方を向くように、患者のリファレンスアレイの下側に配置する。



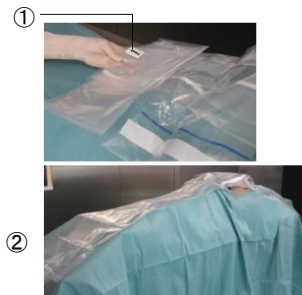
(図1)

- 4) ドレープの手のステッカー側を持って1枚目の層を持ち上げ、リファレンスの上に広げる。



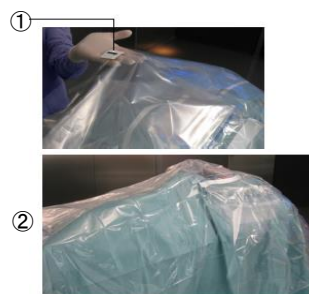
(図2)

- 5) ドレープの端を矢印①の方向に広げる。反対側でも同様に広げて、ドレープが頭から足まで完全に掛かるようにする②。



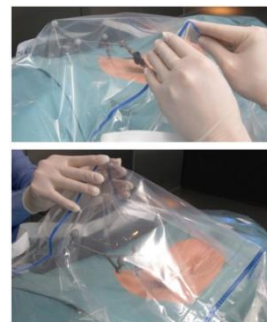
(図3)

- 6) ドレープを外側へ矢印①に沿って広げる。反対側でも同様に広げて、ドレープが完全に掛かるようにする②。



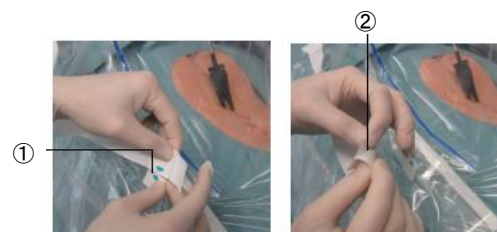
(図4)

- 7) ドレープの両側にある青いストリップで山型を作成し、リファレンスアレイの上に三角形の空間ができるようにする。



(図5)

- 8) 白いテープで2つの青い矢印①の間で破って取り外し、粘着ライナー②をはがす。



(図6)

- 9) 三角形の空間を適切な位置に保ちながら、白いテープでストラップがピンと張るように固定し、反対側でも同様の手順を行う。



(図7)

注記： 三角形の空間の最も高い地点は、リファレンスアレイの最も高い地点よりも上にあり、リファレンスアレイに触れないように配置する。

- 10) カメラによく映るように、三角形の空間にシワがよらないようにする。

<ドレープの固定方法>

- 11) ドレープのたるんだ両端をテーブルの下で折り曲げて所定の位置におさめる。
12) 粘着テープの剥離紙をはがして取り付け、ドレープをテーブルの下で固定する。粘着テープを固定すると、テーブルの下が空く (図8)。



(図8)

<ドレープの取り外し>

- 13) 最初に滅菌野の上の箇所から切り、患者の中心線に沿って下方向にドレープを切る。
14) ドレープを床に落とし、ドレープを廃棄する。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・ ペイシエント スキャンドレープは滅菌済みで出荷され、単回使用の製品である。包装を開ける際や臨床使用の際に滅菌済の中身が未滅菌の環境に触れた場合は、その器具を廃棄すること。
- ・ 運搬用の外箱を尖った器具で開かないこと。
- ・ ドレープで覆う際に、リファレンスアレイに触れないように注意すること。ドレープを広げる際に、ドレープの折り重ねられた厚い部分をリファレンスアレイの上に置かないこと。
- ・ ドレープを固定する際に、三角形の空間が移動してリファレンスアレイに触れないように注意すること。
- ・ ドレープを取り外す際に、リファレンスアレイに触れたり引っかかったりしないように注意すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法:

水濡れ、高温、多湿、直射日光を避け、常温で保管。

有効期間:

包装上に記載 (自己認証データによる)。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

[製造販売業者] ブレインラボ株式会社

電話番号：03-3769-6900

[製造業者] ブレインラボ エスイー

B r a i n l a b S E

製造国名：ドイツ連邦共和国